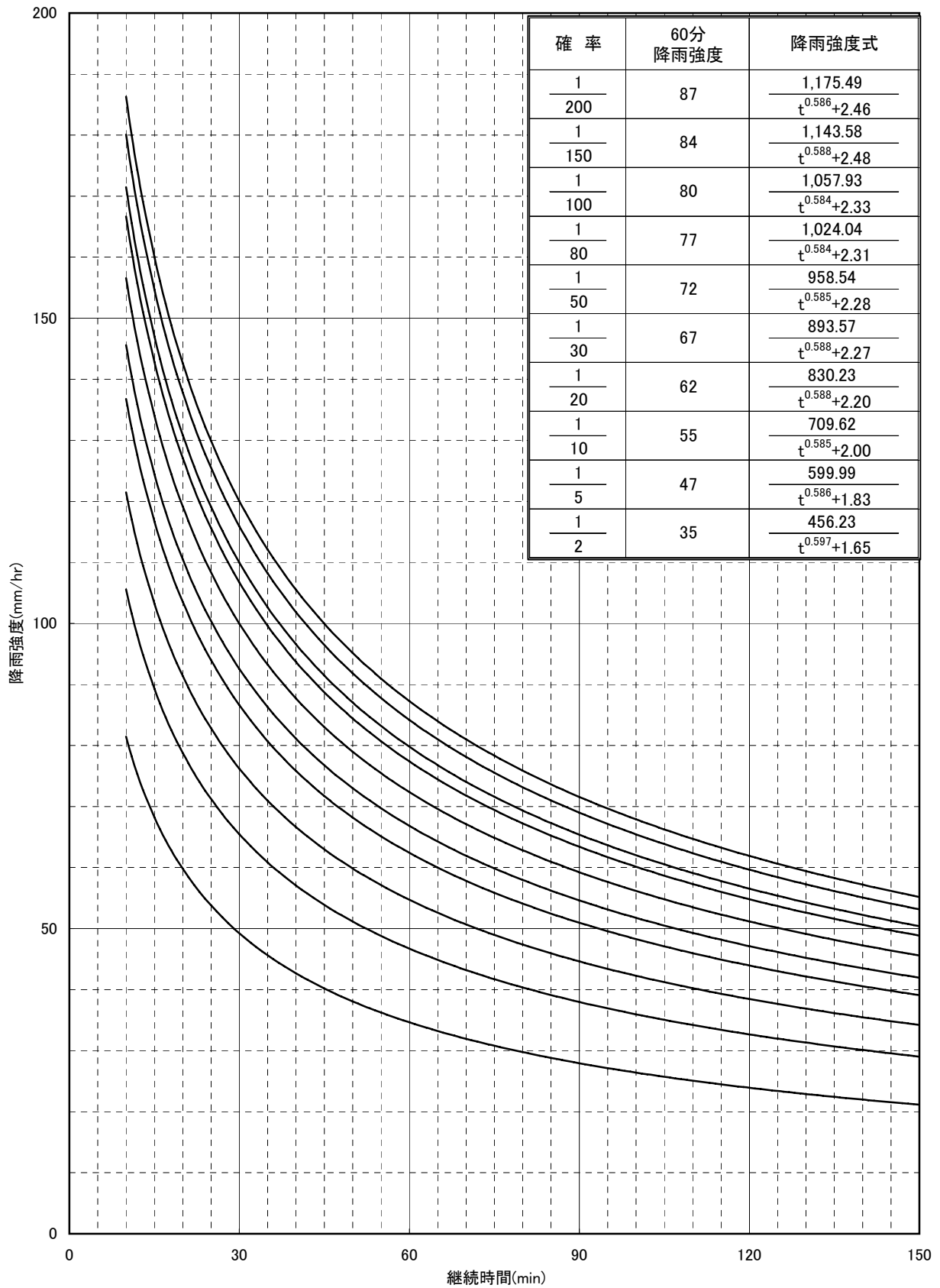


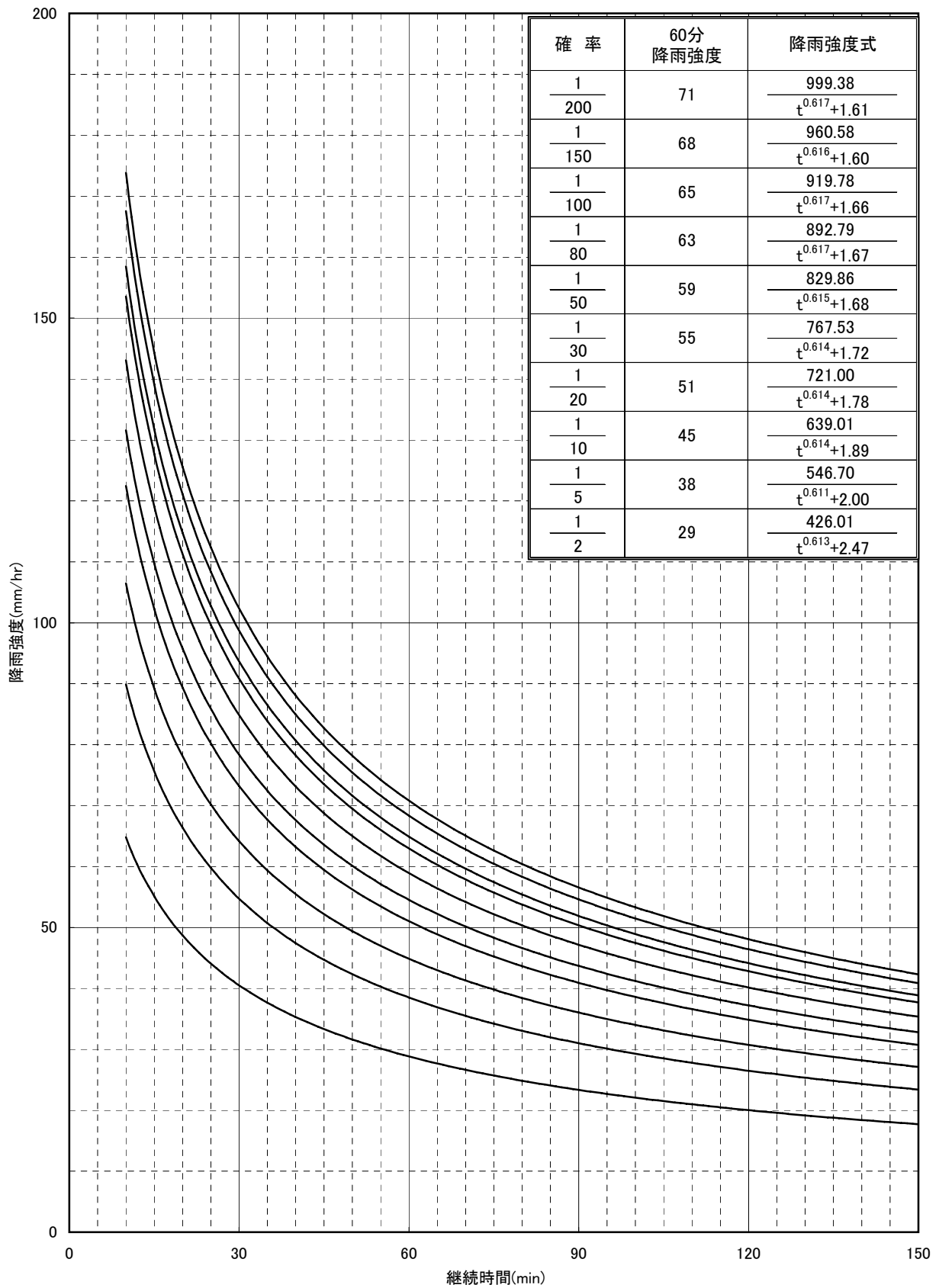
適用に関する留意事項

- (1)洪水到達時間が 10 分以下の場合は、非現実的な降雨強度になり計画が過大になるため適用しない。
- (2)短時間確率雨量は 10 分～150 分を対象としているため、それ以上の継続時間には適用しない。
- (3)流域が複数の地区を跨ぐ場合は、基本的には支配的な地区の降雨強度式を採用するものとするが、適用にあたっては発注者と協議するものとする。
- (4)計画地点が属する地区の観測所より隣接する地区の観測所のほうが近い場合において、どちらの降雨強度式を適用するかは発注者と協議するものとする。(添付するティーセン分割図を参照)
- (5)従来(H15)の降雨強度式にて計画されていた地点に、連続または隣接する地点において、本降雨強度式と従来の降雨強度式のどちらを適用するかは発注者と協議するものとする。

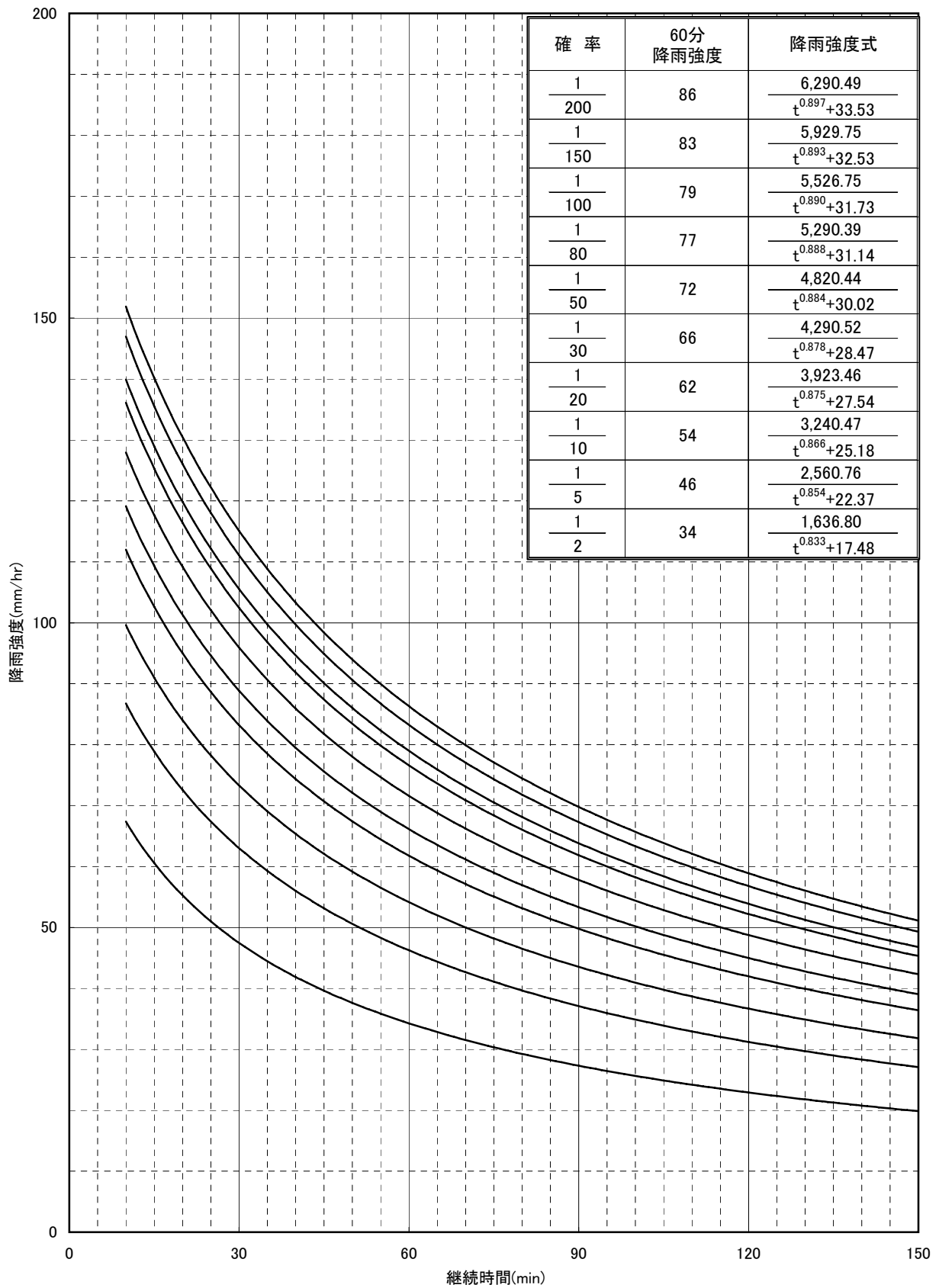
松江地区



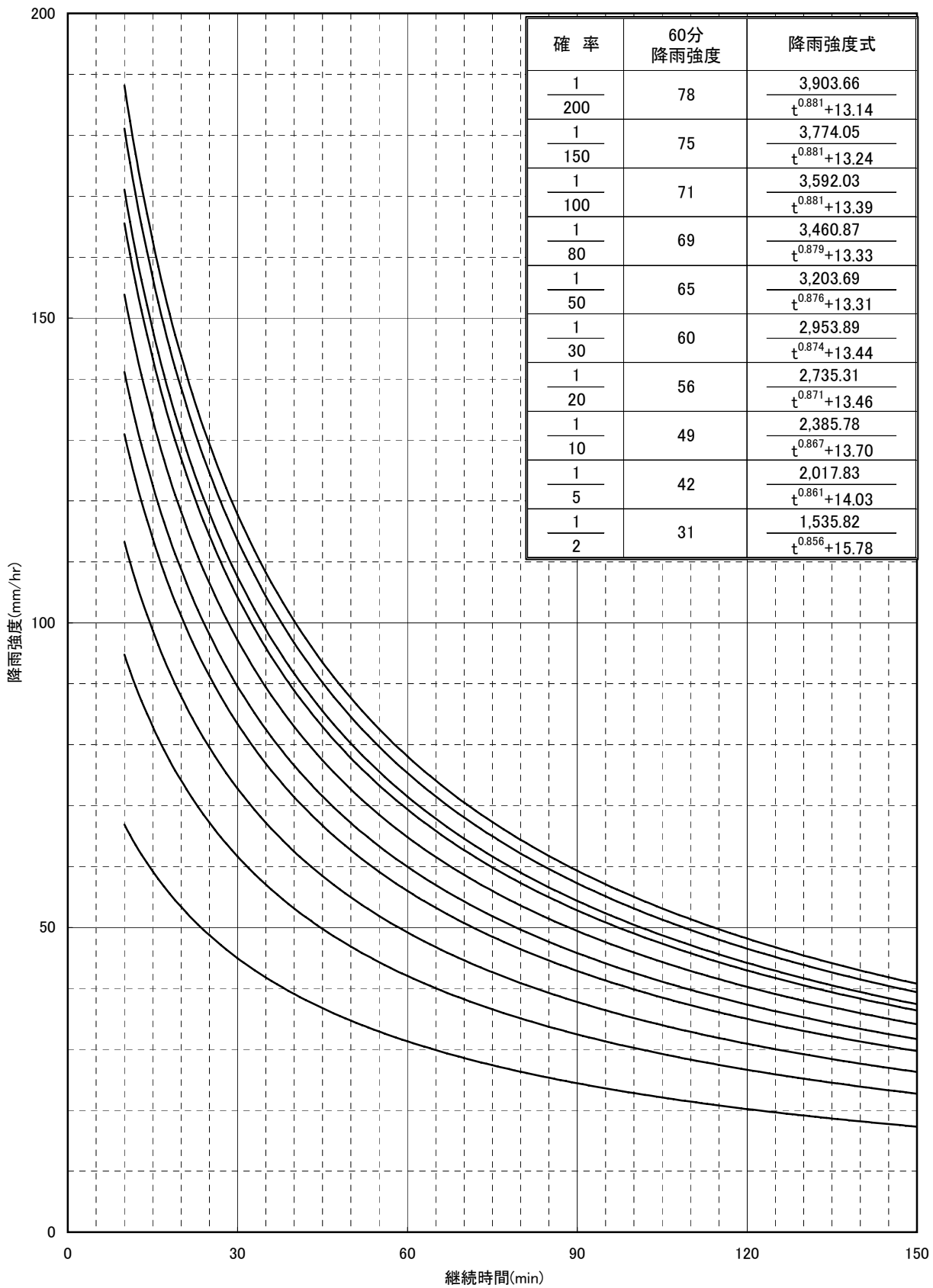
広瀬地区



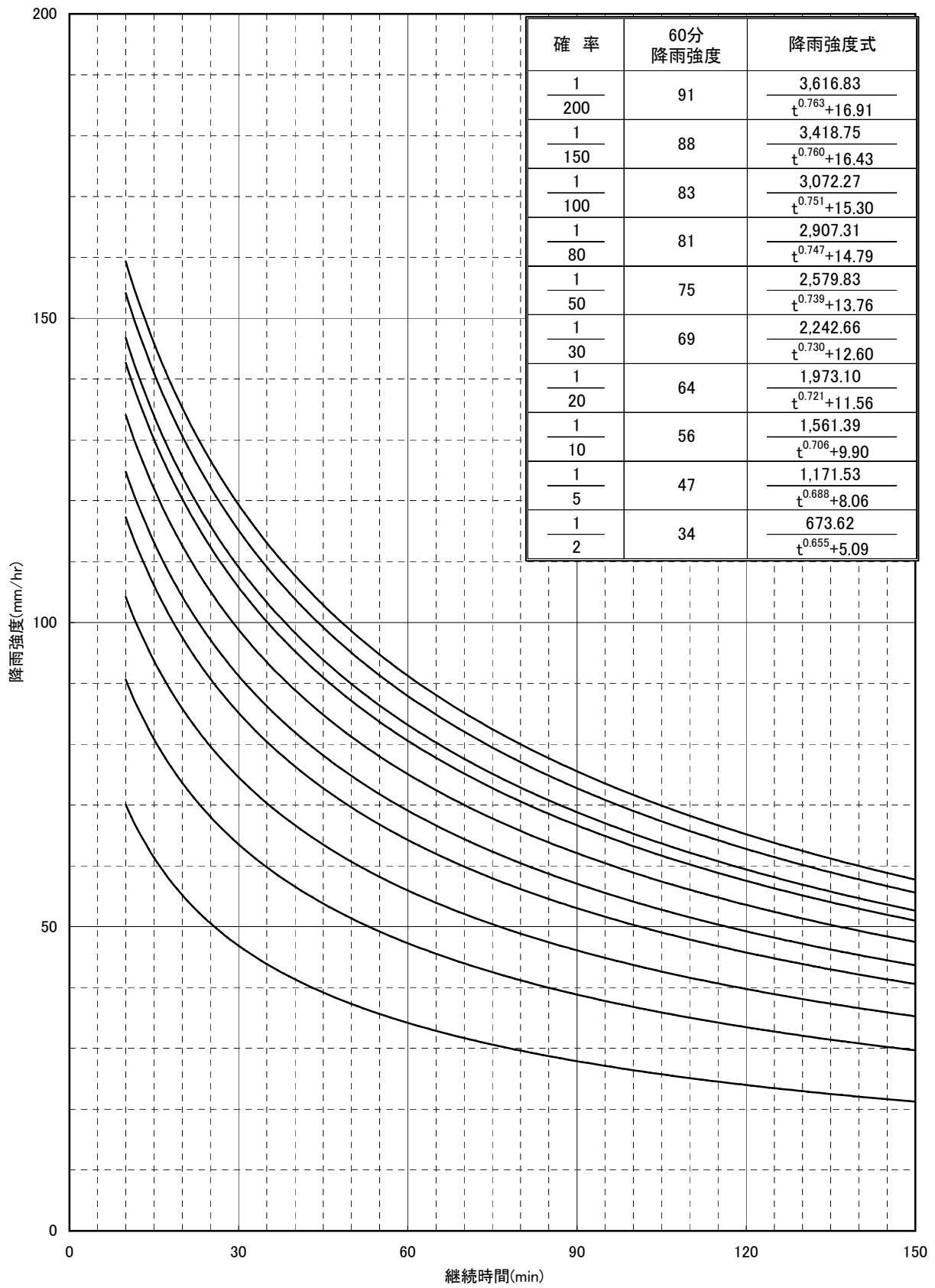
雲南地区



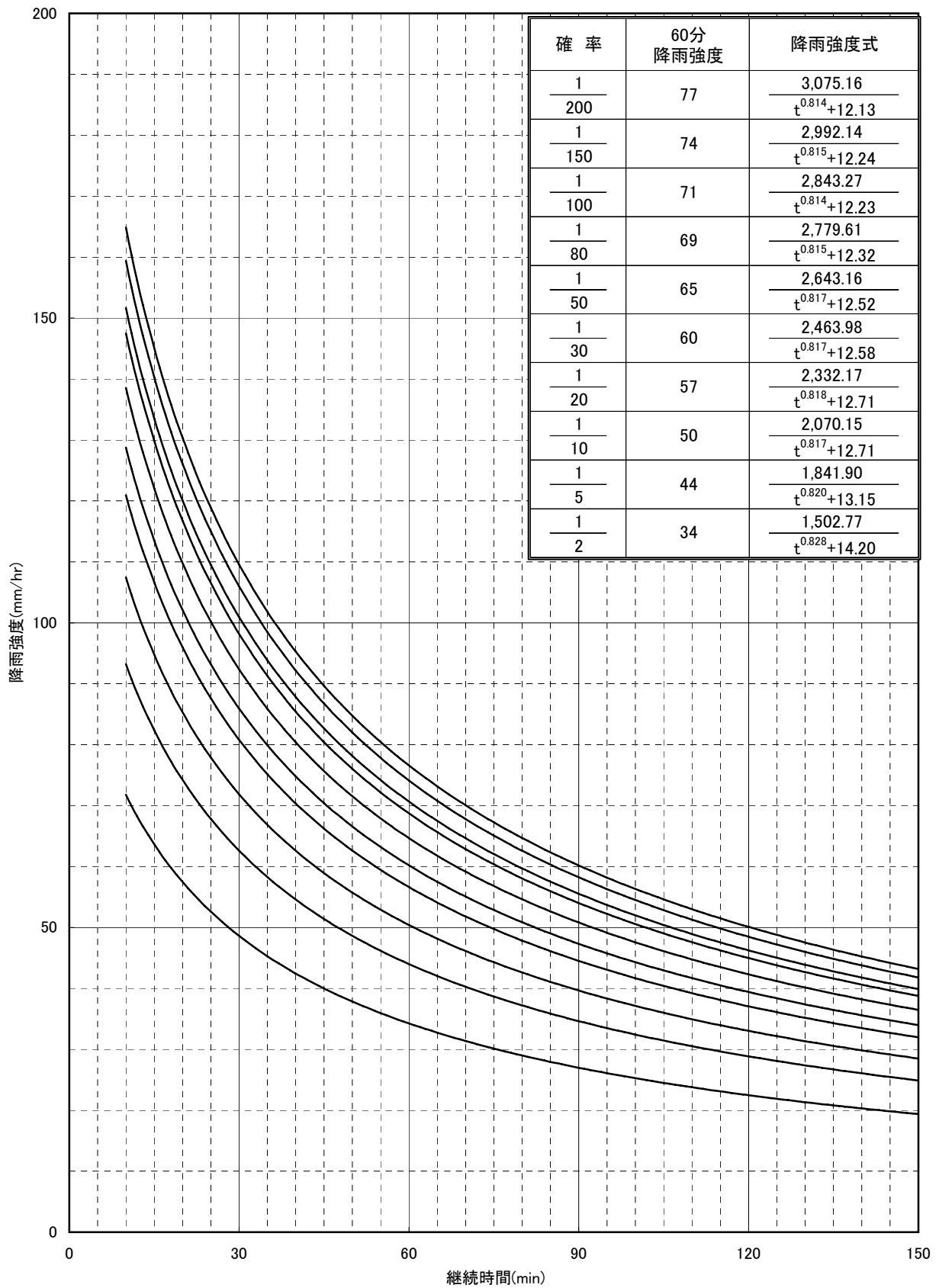
仁多地区



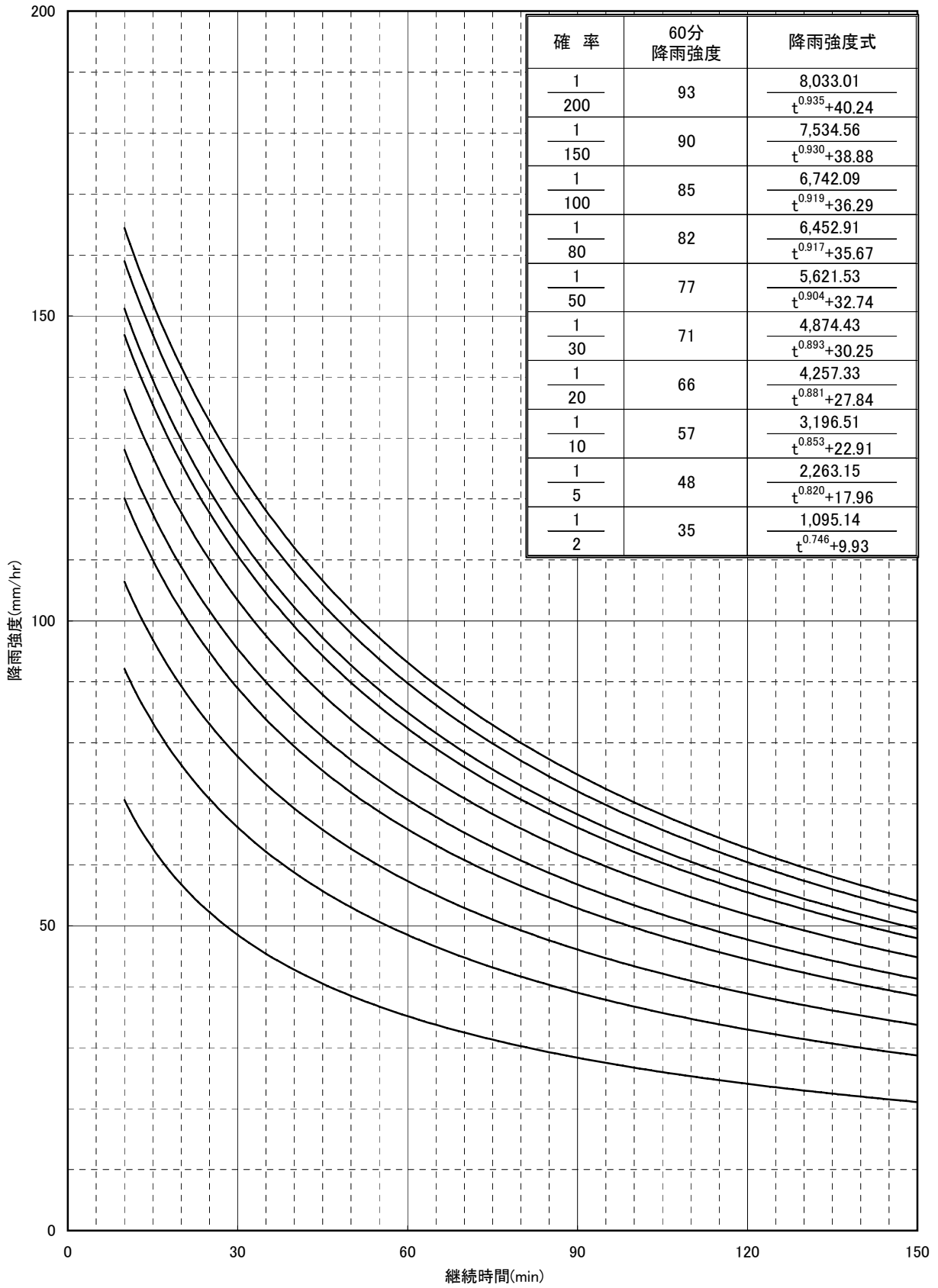
出雲地区



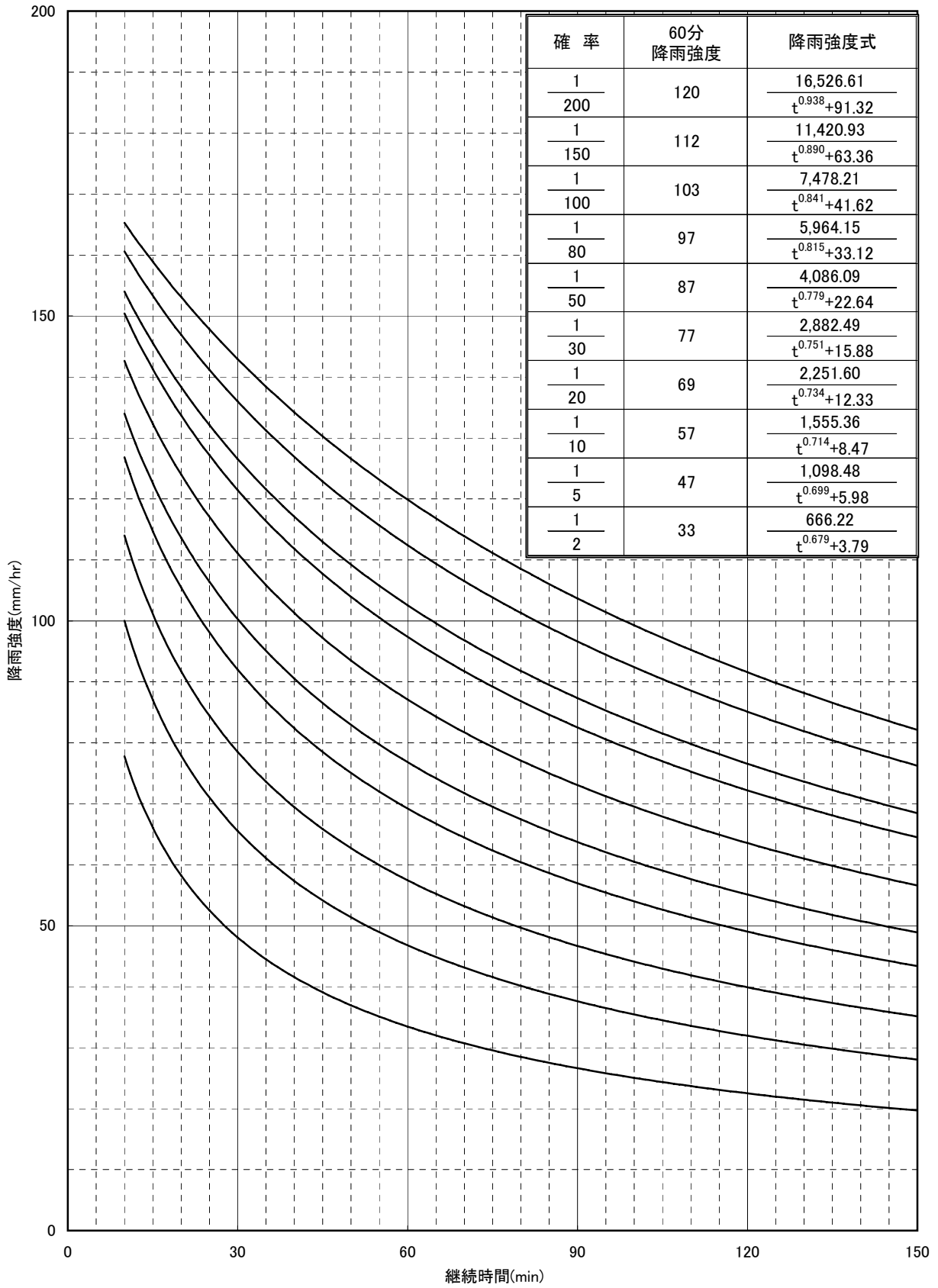
県央地区



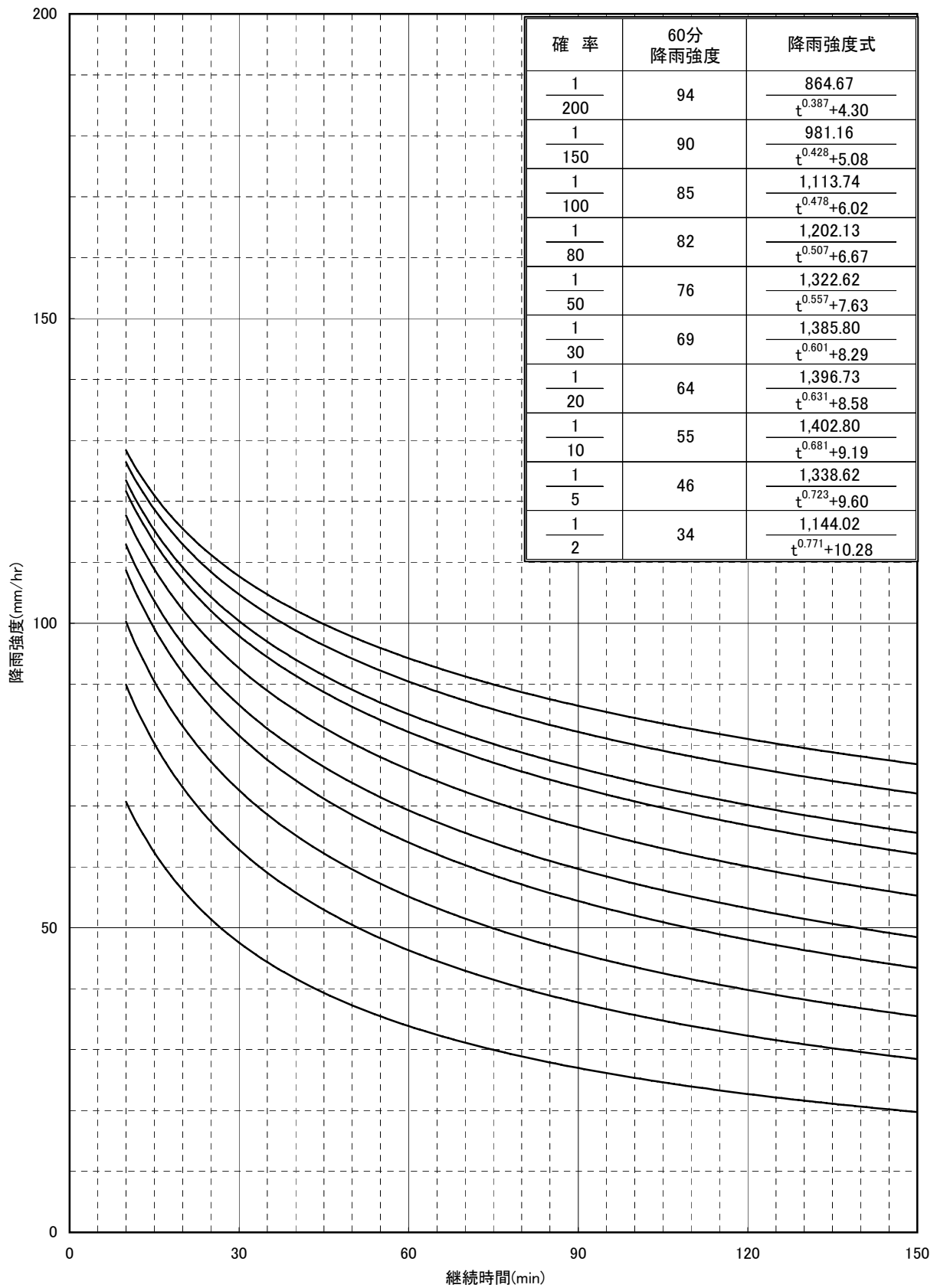
大田地区



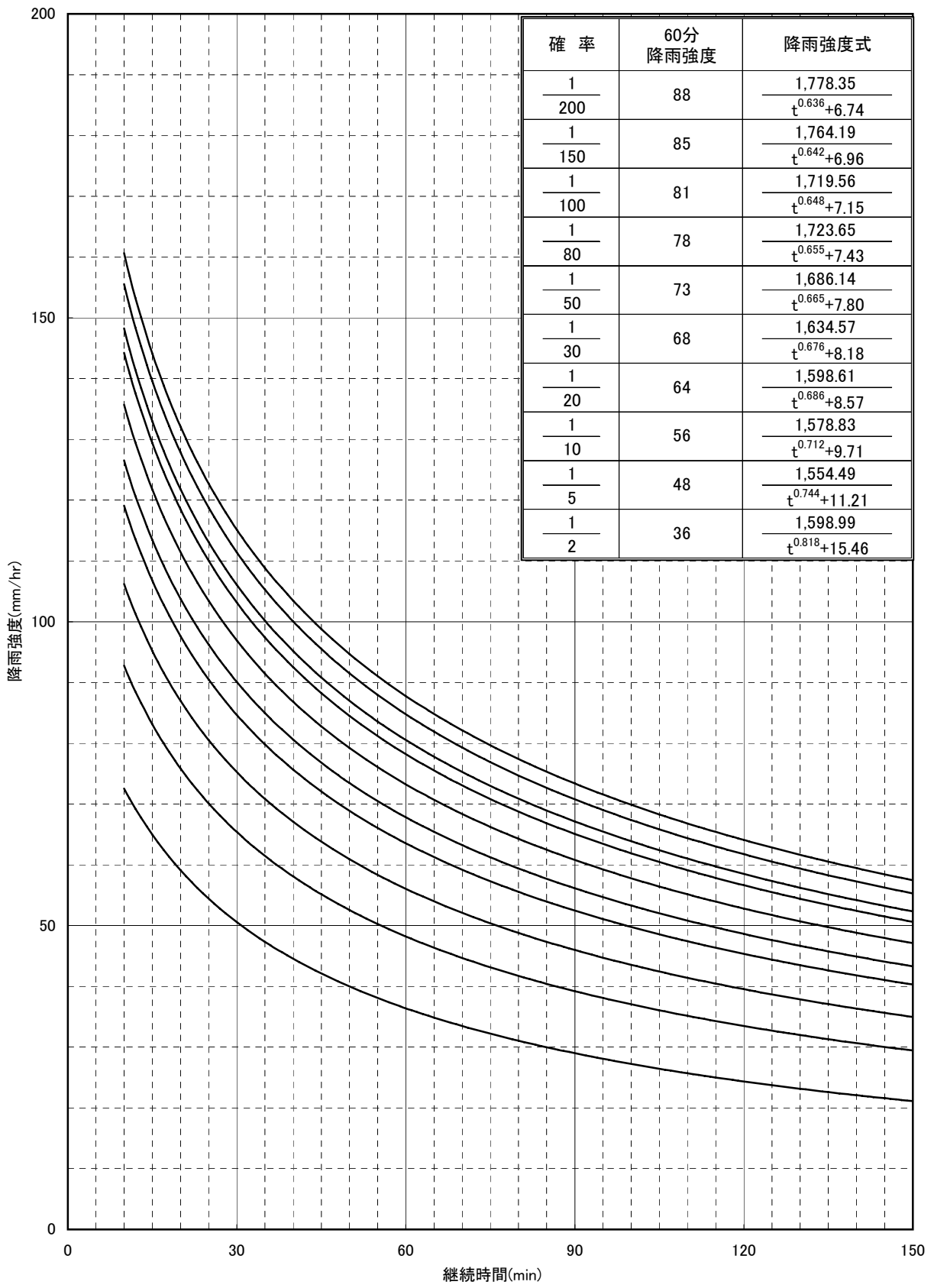
浜田地区



益田地区



津和野地区



隠岐地区

